SHINAGAWA GAKUEN

品川学園だより

霜月 November

令和８年 11 月号
品川区立品川学園
校長 小宮山 琢磨
発行日 10 月 30 日

児童・生徒は、未来からの留学生

校長　小宮山　琢磨

先月、高市総理大臣が「X」で、プログラミング言語「ＰＨＰ」の重大な脆弱性に関する注意喚起を投稿し、ＡＩがもたらす新たな脅威を実感しました。本学園のＷｅｂページも一時停止してメンテナンスしました。また、連日、複数の企業等から個人情報漏洩が問題となっています。電子取引などで実害を受け、犯人を突き止めるための情報に懸賞金を出すとの報道もありました。早期の原因究明に期待します。本学園の児童・生徒には、ＩＣＴ活用能力の向上を図りながら、自らの生き方を律し、展望し、学びを深めていきたいと考えています。

ＡＩには身体がない。人には身体がある。身体があるから痛みがある。ＡＩには痛みはない。痛い思いをしている我が子を気遣う親心は承知のうえで、子どもたちは、痛みと向き合うことを知っているように思います。だから、「ゆとり」「ゆだね」「ゆらぎ」ながらウェルビーイングを視点に教育を見直していく必要があると思っています。ところで、現在、開発が盛んなフィジカルＡＩは、人間の動作を再現もしくはその強化が目的です。人型のＡＩの方が現在の人に合わせた環境を使いやすいので汎用性が高く有利だと聞きました。ＡＩは間違いなく、人の生活を豊かにしていく、不便をなくしていくはずです。それは、あらゆる科学技術と同じように、活用する目的を律しない限り脅威となります。それでも、ＥＰＳ細胞でつくった身体をもつことも可能になるのでしょうか。痛みまでも処理できるようになるのでしょうか。ＡＩが自らを律することこそファンタジーなのかもしれません。

三大ディストピア小説と言われる作品も再注目され、源氏物語やシェイクスピア作品などの古典は今も引用され続けています。それをネガティブ・ケイパビリティと考えると、レジリエンスを高めるための重要な要素の一つであることは自明です。ところで、フィジカルＡＩについて考えた時、ＳＦ作品が頭に浮かびます。品川区にゆかりのある星新一作「ボッコちゃん」（１９５８）は、ロボットと人との関係をコミカルに描きゾクッとする作品で、児童・生徒にもおすすめのショート・ショートです。Ａ・シュワルツネガー主演「ターミネーター」（１９８４）では、核戦争後、地球のためにＡＩが人間を排除するように動き出すことへの警鐘。川井憲次氏が音楽監督を担当した映画「イノセンス」（２００４）は「攻殻機動隊」を原作とし、「電脳」「義体」がテーマでした。是枝裕和監督「箱の中の羊」（２０２６）は、サン＝テクジュペリ「星の王子様」の羊の絵からの着想で、ＡＩによる自律型ロボットを我が子の代わりに家庭に迎え、家庭とは何か問うています。また、暗号解読機で有名な数学者であるアラン・チューリングは、機械が人間的かどうかを違和感がない会話ができることで判定する「チューリング・テスト」を１９５０年に提唱しました。私の手元にあるＡＩは、このテストをクリアするどころか、ＩＱ１５０相当でどんな立場からの考えかも加味して返事がもらえる状況にあります。しかし、私の中の何かが、ＡＩにこの巻頭言は読ませたくないと囁いています。

『……声の厚み、迫力は素晴らしく、クラスが一体となり励んできた姿が最高の形で発揮できていたと思います。賞という形だけでなく、歩みを深めてきた経過、そこでの葛藤、もがき、気持ちの高揚、楽しさなど、今だからこそ、そのクラス、学年で味わえた経験はかけがえのないものですね。感動しました。……』先日の紅葉祭、保護者アンケートを読みながら、未来からの留学生である児童・生徒と共に進んでいきたいと、秋空のむくの木を見上げました。

教育施策推進室より

教育施策推進室長　杉浦　紀彦

先日、校内を巡視していると、９年の教室で生徒たちが皆、背中を丸めて何かに取り組んでいました。近づいて様子をのぞいてみると、家庭科の授業でお手玉作りをしていました。

お手玉と聞くと、単純な作業のように思われるかもしれませんが、その制作過程にはいくつかのポイントがあるようです。形の整ったお手玉を作るためには、まず丁寧な袋作りが欠かせません。袋を閉じる部分の縫い方が粗かったり、縫い幅が不ぞろいだったりすると、中の素材がこぼれてしまいます。そのため生徒たちは、一針一針の間隔を揃えながら慎重に縫い進めていました。よりよい作品にしようと細かな部分まで気を配りながら取り組む姿が印象的でした。

またこのお手玉は、子どもの頃に遊んだような簡素なお手玉ではなく、完成すると、かわいらしい動物やキャラクターを模した作品になるそうです。机上の完成予想図を見ながら、耳や目などの細かな装飾パーツを作り、本体へ縫い付けていきます。どのようにすれば自分のイメージに近づくかを考えながら、工夫を重ねていました。

何より印象的だったのは、生徒たちの学ぶ姿勢です。友達同士で相談しながら進める生徒、黙々と集中して作業を続ける生徒、上手にできた部分を周囲に見せて喜び褒めあう生徒たちなど、その姿は様々です。しかし、どの生徒にも共通していたのは、「よりよいものを作りたい」という思いであるようです。教師から教わったことを元に、自ら考え、試し、工夫しながら学びを進める姿は、まさに主体的な学びでした。

その後、3階へ降りると、5年生も家庭科で裁縫の学習に取り組んでいました。こちらはボタン付けや基本的な縫い方の練習といった、まさに学習のスタートラインです。慣れない手つきで針を進める姿に、思わずこちらがひやひやする場面もありましたが、その一針の積み重ねが、やがて大きな力になっていきます。今は基本を身に付ける段階の５年生も、４年後には９年生のように、自分の思いを作品のデザインに込め、自ら工夫しながら形にしていくことでしょう。そんな成長の過程を思い描きながら、子どもたちの手元を見つめていました。

中学校学習指導要領では、技術・家庭科の家庭分野において、実践的・体験的な活動を通して、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することが求められています。９年生と５年生の学習の様子からは、その学びの道筋を見ることができました。基礎をこつこつと積み重ねること、その積み重ねをもとに、自分の考えや思いを形にしていくこと。学年を超えてつながる学びの姿に、学園の子どもたちの確かな成長を感じたひとときでした。

教務部

転居についてです。引っ越しなどを行う場合、学区内、学区外問わず、学校の方へご連絡のうえ、転居届を作成していただいています。よろしくお願いいたします。

児童課程　光椋祭

児童課程の『光椋祭』が10月31日（土）に行われます。今年度のスローガンは【あきらめない。全力で楽しい光椋祭にしよう】です。4年生の実行委員が、各クラスの思いを集めて考えました。子どもたちは練習を重ねる中で、努力することや仲間と励まし合うことの大切さを学んできました。一人一人が輝き、心に残る光椋祭となるよう、最後まで諦めずに全力で取り組みます。保護者の皆様、温かいご声援、よろしくお願いいたします。

生徒課程　紅葉祭

10 月 17 日（土）に紅葉祭がありました。地域、保護者の皆様にもご協力いただき、ありがとうございました。今年度のスローガンは紅葉祭「史上最響（しじょうさいきょう）～一瞬を、一生の記憶に～」に決まりました。昨年度とは違い、5 年生は学年合唱で課題曲を歌い、6 年生はクラス合唱で課題曲を歌いました。また、5・6組がクラス合唱で課題曲を歌いました。5年生から9年生まで、5学年の合唱を順に聴いて、それぞれの学年の声質や持ち味の違い、そして段階的な成長が感じられました。どの学年も心にしみる感動的な歌声を響かせてくれました。

【紅葉祭実行委員長の言葉】（紅葉祭のエンディングセレモニーで話されたものをご紹介します。）

みなさん、お疲れさまでした！紅葉祭実行委員長の計良吏玖です。数週間前に「今日からクラス練習が始まるね！」「最高の紅葉祭にしよう！」そんな動画をみなさんに見てもらったのを覚えていますか。あの日から、今日まで本当にあっという間だったように感じます。5年生から9年生まで、学年は違っても「最高の紅葉祭にしたい！」という一つの想いを胸に、みんなで今日まで走り抜けてきました。

練習では思うように声がそろわず悔しかった日や、意見がぶつかって悩んだ日もあったと思います。それでも誰かが頑張るのを待つのではなく、自分から少しだけ本気になる。その一人一人の小さな勇気が重なって、今日の素晴らしい響きにつながったのだと思います。一人一人が主役だった、最高の時間でした。今、「やりきった！」という達成感に包まれている人もいれば、「もっとこう歌いたかった」と悔しさが残っている人もいるかもしれません。でも、いいんです！！！その悔しさも、涙も、流した汗も、すべて本気で紅葉祭に向き合った証です。一生懸命だったからこそ生まれたその感情は、きっとこれからの自分を強くしてくれると思います。

今日という日は、もうすぐ終わります。でも、みんなで作った響きや、分かち合った感動はきっと心の中に残り続けます。何度も練習したこと。本番直前、みんなで緊張したこと。歌い終わった後の笑顔や涙。いつか振り返ったとき、きっと歌声と一緒に、仲間の顔や今日の景色までよみがえってくると思います。それこそが、僕たちが目指した「史上最響～一瞬を一生の思い出に～」なのだと思います。最後に、今日まで一緒に走りぬけてくれた生徒のみなさん、温かく見守り導いてくださった先生方、そして、この紅葉祭に関わったすべての人に、心から感謝します。みんなで作った今日の「一瞬」が、いつまでも心に残る「一生の思い出」になりますように。本当に、最高の紅葉祭でした。ありがとうございました！！！

お知らせ　「NPO 法人そとぼーよ」による校庭プレイパークについて

子どもの森公園や南品川児童センターの改修が重なり、子どもたちの身近な遊び場が少なくなっていることから、「NPO 法人そとぼーよ」が学校の校庭を遊び場とする「校庭プレイパーク」を計画しました。

少しでも子どもたちがわくわくできる場所と時間をつくりたい！というものです。品川学園はその想いに賛同し、第二グラウンドを貸し出すこととしました。

「NPO 法人そとぼーよ」の運営となり学校外の活動となりますので、参加する場合には一度下校していただいてからご家庭のご判断での参加となります。詳細につきましては、10/30（金）に tetoru により「NPO 法人そとぼーよ」からご案内させていただいた案内文をご確認ください。

学校説明会

多くの人に参加していただきました。以下、質問への回答の一部です。（ホームページにも掲載しています）今後も、本校教育活動へのご理解、ご協力、よろしくお願いいたします。

1	年間行事予定、登校時刻を知りたい	今年度の年間行事予定、生活時程につきましては、学校HP に掲載しております。前期課程については、登校時間より前に登校させたいご家庭のため、開門時刻前まで校内で安心して過ごせる居場所を設置しています。「品川区　朝の児童の居場所確保事業」への登録をご案内しています。
2	発熱等による当日の欠席連絡はどうすればよいのか	tetoru という連絡用アプリを利用しています。
3	学校からの連絡は、どのように保護者へ届くのか	学校から配布される文書も、tetoru を利用して配信し、ペーパーレス化を進めています。
4	学校生活のきまりはあるのか	「学校生活の手引き」をご覧ください。
5	品川学園の6年生から新7年生にそのまま進む生徒の割合はどのくらいか。	例年本学園6年生のおおよそ6～7割の生徒が、そのまま7年生に進級しています。
6	1年生から9年生までがどのような交流をしているのか。	全校で交流する場として、1・7年生を迎える会、 卒業生を送る会や毎月行う全校集会、児童生徒会などがあります。 児童課程（1～4年）、生徒課程（5～9年）では、運動会や学習成果発表会をはじめとして、クラブ活動や絵本の読み聞かせ活動などで異学年交流活動を行っています。
7	ICT機器の具体的な活用状況を知りたい	iPad を一人1台ずつ貸与し、主に Microsoft 系のアプリ、ロイロノートスクールという学習支援クラウドを授業で活用しています。 iPad は、心身の健康観察（デイケン）の入力や、情報共有のため毎日使用しています。授業の連絡や課題の提出にも活用しています。
8	英語の授業は週何時間ありますか。ALT（外国人講師）の配置はありますか	英語の授業は、1年生から実施しています。1，2年生は週1時間ALTと教員の二人で授業をしています。 ・1，2年生（週1時間）担任と ALT ・3，4年生（週1時間）担任と JTE（日本人指導員） ・5，6年生（週2時間）担任と JTE ・7～9年生（週4時間）少人数指導、ALT
9	特別支援教育の制度について知りたい	就学相談等で判定を受けている児童・生徒については、特別支援学級や特別支援教室での指導を受けることができます。
10	特別支援教育の制度について知りたい。特別支援教室や、特別支援学級の見学をしたい	就学相談等で判定を受けている児童・生徒については、特別支援学級や特別支援教室での指導を受けることができます。また校内での判断のもと、学習支援員が各教室に入り、学習のサポートを受けることもできます。見学は個別に対応しますので、副校長までご連絡ください。

11月　月間予定

1	日	A週（週番1班）	16	月	
2	月	振替休業日(1-4年) 9年面談	17	火	社会科見学（4年） 期末考査※5-9年給食なし
3	火	文化の日	18	水	期末考査※5-9年給食なし
4	水	11月避難訓練	19	木	たてわりクラブ（1-4年） プーマ出前授業（1年） CAPS(7年) 期末考査※5-9年4時間目市民科
5	木	光椋祭予備(1-4年) 9年面談	20	金	保幼小連携（1年） 委員会 CAPS（7年） 明電舎出前授業(8年) 到達度テスト（9年）
6	金	全校集会 9年面談	21	土	
7	土		22	日	B週（週番4班）
8	日	B週（週番2班）	23	月	勤労感謝の日
9	月	9年面談	24	火	保幼小連携（1年） CAPS（7年）
10	火	市民科探究学習2校合同発表会（6年）	25	水	
11	水	品川かるた講話（1年） 探究校外学習（3年） 就学時検診	26	木	GTEC(6年) 食肉市場講話（9年） 受験写真撮影(9年) 校区教育協働委員会
12	木	煙ハウス体験(3年) お祭り講話（4年）	27	金	パン作り体験（5組） GTEC（5年） クラブ（5.6年） CAPS（7年）
13	金	面談講座（9年）	28	土	
14	土		29	日	A週（週番1班）
15	日	A週（週番3班）	30	月	CAPS（7年） 受験写真再撮影（9年）